

百日咳の感染が拡大しています

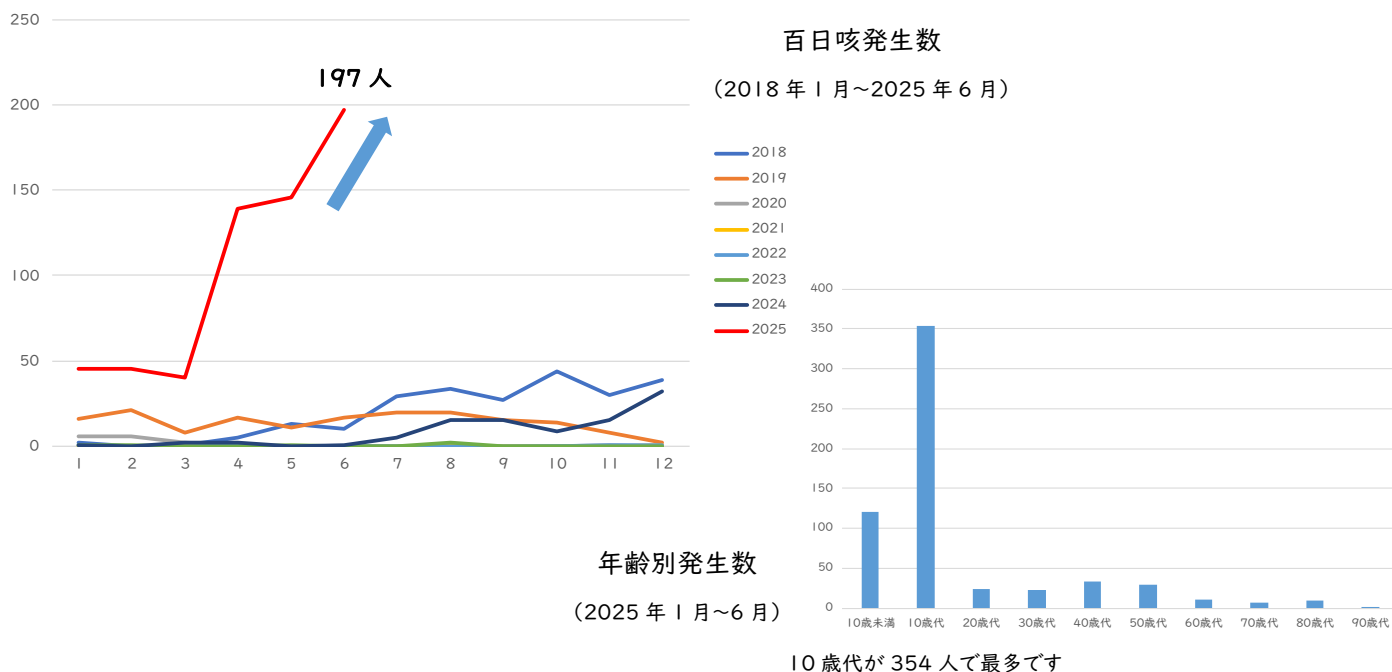
【概況】

2025 年 6 月の報告数は **197 人**で、過去最多の報告数です。

2025 年 1 月～6 月の患者数の累計数は **612 人**となっています。そのうち 10 歳代の患者が多く、全体の 57.8%を占めています。

【市内流行状況】

2024 年 8 月以降、報告数が増加し始め、12 月以降は高い値で推移しています。2025 年 4 月に急増し、6 月は 197 人の報告がありました。2018 年 1 月 1 日に全数把握疾患としての調査が開始されて以降、1 か月の報告数としては過去最多です。2025 年 1 月～6 月の患者年齢層は、10 歳代が最も多く、全体の 57.8%を占めています。



百日咳とは

百日咳菌による感染症で、特有の咳（コンコンと咳き込んだ後、ヒューという笛を吹くような音をたてて息を吸う）が特徴です。発熱することは少ないです。生後 3 か月未満の乳児では呼吸ができなくなる無呼吸発作、脳症等の合併症も起こりやすく、命に関わることもあります。潜伏期間は通常 7～10 日で、感染経路は飛沫感染（咳、くしゃみなど）、接触感染（感染者の飛沫などに触れた手で、口や目などの粘膜を触ることによる）です。年長児や成人では特徴的な咳が目立たないため、百日咳にかかっていることに気づかず、新生児や乳児の感染源になることがあります。予防には、生後 2 か月以降に 5 種混合ワクチンの接種が有効です。



咳エチケットも重要です。

登校（園）基準は、学校保健安全法によると、特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで出席停止となっています。

